



(株)グリーンロジスティクス  
e-style camp

2

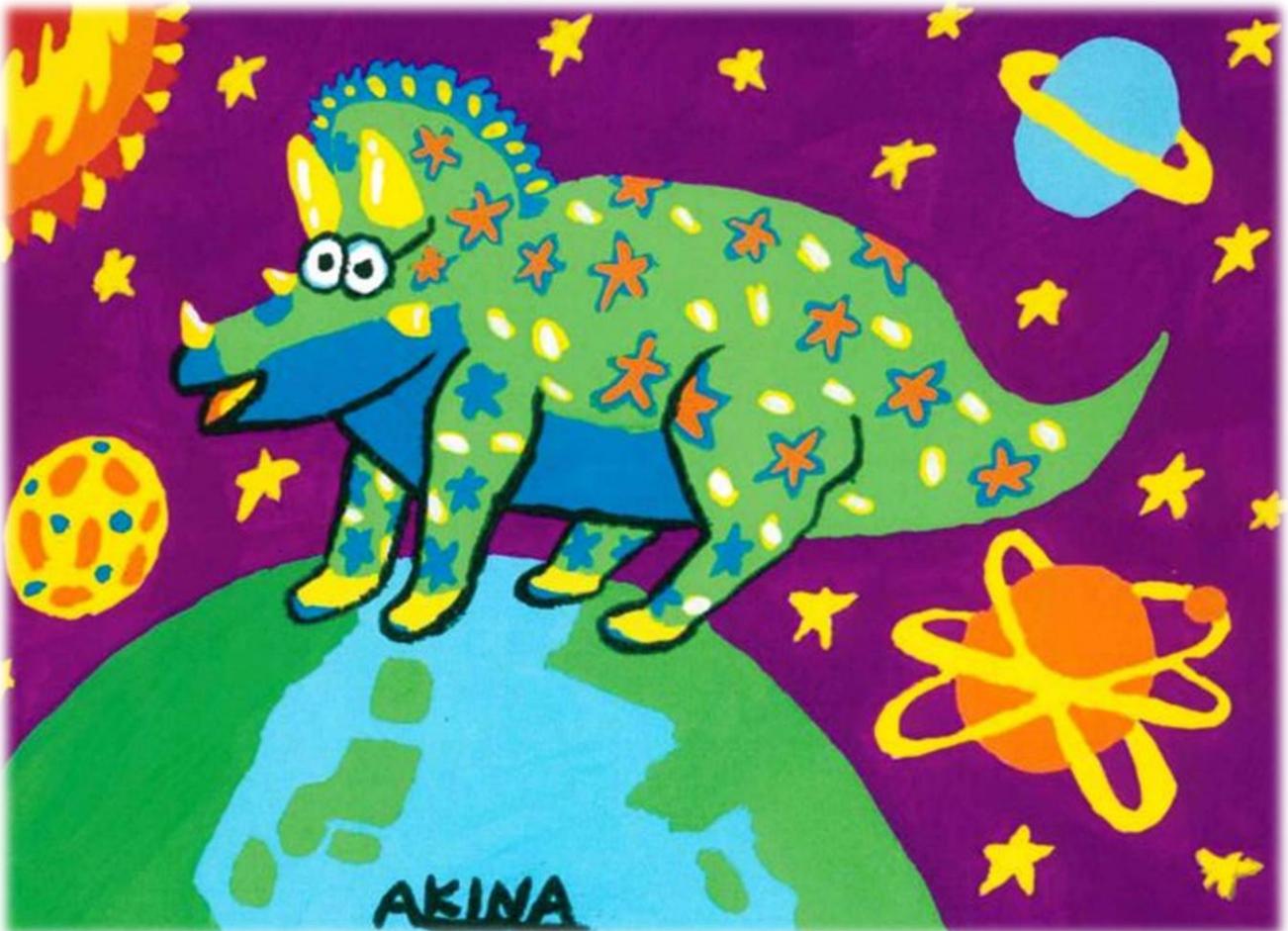


2

1

# 環境経営レポート

Environmental Management Report



障がいのある方が描いた絵です。  
題名「トリケラトプスクんのぎょうりゅう宇宙ステーション」  
提供：夢のかけら舎さん。

2022年4月発行

第18版：2021年3月～2022年2月実績



# 目次

1. 経営理念と環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. SDGsの取組み ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 事業概要 I～IV ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3～6
4. 環境経営マネジメントシステム ・・・・・・・・ 7
5. 環境経営目標と実績及び評価 ・・・・・・・・ 8
6. 環境経営計画の取組み結果とその評価及び 次年度の取組み内容 I・II ・・・・ 9～10
7. 教育・研修実施計画及び実施記録 ・・・・・・・・ 11
8. 地域環境コミュニケーション I～IV ・・・・ 12～15
9. 環境関連法規の遵守状況 I・II ・・・・ 16・17
10. 代表者による全体評価と見直し ・・・・・・・・ 18
11. これまでの取組み I～III ・・・・・・・・ 19～21



# 経営理念と環境経営方針

## 経営理念

### 1. 地域環境コミュニケーションの形成

廃棄物処理事業活動を通じて地域社会に豊かな環境コミュニケーションを形成します。  
これにより地域社会の一員として地域のあらゆる要望に対して、私達の企業資源の全てを活用して「私達らしく」応えられる企業であり続けます。

### 2. 学習型企业への発展

全社員が主役の会社を目指します。  
社員の創意工夫や自主性が十分に発揮できる社風を創り、働く環境の中から互いに学びあい尊重しあい、活力に満ちた心豊かな人間集団としての学習型企业を目指します。

## 環境経営方針

### 基本理念

株式会社グリーンロジスティクスは、廃棄物の中間処理・収集運搬業務を通じて、人と環境が調和し、共存できる循環型社会への構築に向けての地域環境保全に努めます。

### 行動指針

1. 環境負荷の低減を目指し、重要項目として下記の項目に重点を置き、計画的・継続的・効果的なCO2削減活動を行います。

- ① 収集運搬車両及び重機等による燃料使用量の削減
- ② 産業廃棄物リサイクル率の向上
- ③ 水光熱使用量の削減
- ④ 再生可能エネルギーの生産・供給
- ⑤ グリーン商品の積極的購入及び資源の有効活用

2. 全社員が、地域社会における役割と責任を認識し、地域融和活動に努めます。

- ⑥ 第一に私達は、地域社会の一員であることを自覚します。そして、地域に対して「役立ちたい」というもっとも高い価値観を共有します。
- ⑦ 地域の企業・環境団体や行政との連携を深く図り、地域が参加できる環境保全活動を企画・実践します。そして、知識・情報を共有し環境ネットワークづくりに努め、地域社会にも広く発信します。

3. 環境関連法規・条例・要綱及び全ての要求事項を遵守します。

4. あらゆる人に環境レポートを公開し、地域環境コミュニケーションの形成のための協力と理解を求めます。

制定日 2005年5月1日  
最終改訂日 2018年4月1日  
株式会社 グリーンロジスティクス  
代表取締役 岩崎 浩



## 【熊本県 SDGs登録制度】 登録証と取組み項目



©2010熊本県くまモン  
第1期熊本県 SDGs  
登録事業者として  
登録しました。

私たちは以下の項目を重点項目として  
SDGsに取り組んでいます。



## 【取組み事項の決定】



- 5. ジェンダー平等を実現しよう**  
5-1 職場内外におけるジェンダー平等。  
5-5 職場内外の意思決定において、女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。



- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに**  
7-2 再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。  
7-a 化石燃料の使用量の削減。



- 8. 働きがいも経済成長も**  
8-5 老若男女、障がい者の雇用の確保及び働きがいのある業務・環境の提供。  
8-8 すべての労働者に安心安全な労働環境の促進



- 12. つくる責任 つかう責任**  
12-4 廃棄物による人への健康被害や環境への悪影響を最小限化するため、廃棄物の大気・水・土壌への放出を削減する。  
12-5 廃棄物の発生防止・削減・再生利用。

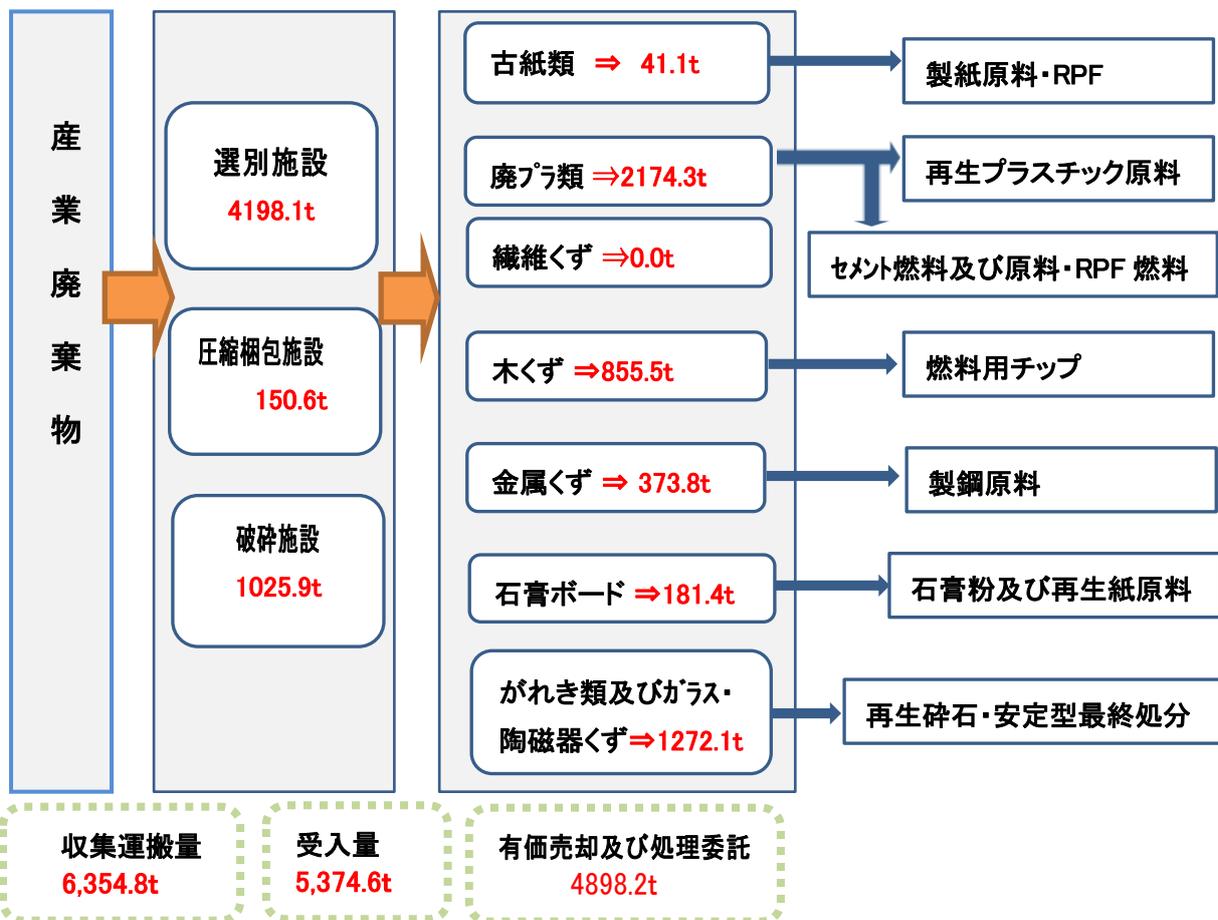


- 17. パートナーシップで目標を達成しよう**  
17-17 さまざまなパートナーシップの経験や資源を基にした公的・官民・市民・社会のパートナーシップを推進する。

# 事業概要 I

事業所名	株式会社 グリーンロジスティクス
代表者名	岩崎 浩
所在地	管理事務所／熊本県菊池郡大津町杉水2506番地
	圧縮・梱包及び破碎・選別棟／熊本県菊池郡大津町杉水2509番地1
資本金	1,000万円
設立	1992（平成4）年12月21日
事業内容	一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
	産業廃棄物中間処理業（選別・破碎/圧縮・梱包）
	有価物（古紙・再生樹脂・鉄・非鉄スクラップ）の回収・加工・販売

## 中間処理施設の処理フローとマテリアルバランス



# 事業概要Ⅱ

## ◆許可内容

NO	許可の種類	自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日
1	一般廃棄物収集運搬業	大津町	第 10 号	2022.4.1	2024.3.31
2		菊池市	第 2108 号	2021.4.1	2023.3.31
3		合志市	第 15 号	2021.4.1	2023.3.31
4		菊陽町	第 555 号	2022.4.1	2024.3.31
5		益城町	第 20-8 号	2022.4.1	2024.3.31
6		西原村	第 4075-3 号	2021.4.1	2023.3.31
7	一般廃棄物処分業	大津町	第 64 号	2021.4.1	2023.3.31
8	産業廃棄物収集運搬業 (積替え及び保管行為含)	熊本県	第 04310008464 号	2019.1.11	2022.9.8
9	産業廃棄物処分業		第 04320008464 号	2019.5.7	2023.9.29

※2013.5.16 熊本県より「優良産廃処理業者」に認定

※2019.1.11 事業範囲の変更許可(積み替え保管の追加)

## ◆事業全体計画

### ◇産業廃棄物処分業(熊本県)

排出事業所から排出された産業廃棄物を搬入し、計量後、処理前保管場所にて保管する。その後、機械選別ライン・破砕機・圧縮梱包機にて、それぞれ処理を行う。その後は、処理後保管場所に保管し有償売却、又は処理委託する。

### ◇産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

排出事業者から収集運搬の委託を受けた産業廃棄物を自社中間処理施設及び他の処理施設に運搬する。

## ◆処理計画量

### ◇産業廃棄物処分業(熊本県)

処分する産業廃棄物の種類等(選別・破砕・圧縮梱包)

廃プラスチック類 60t/月・木くず 50t/月・金属くず 6t/月・がれき類 20t/月・紙くず 2t/月・繊維くず 0.5t/月・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず 20t/月・ゴムくず 0.1t/月・混合廃棄物 150t/月

### ◇産業廃棄物収集運搬業(熊本県)

収集運搬する産業廃棄物の種類等

廃プラスチック類・木くず・金属くず・紙くず・繊維くず・ゴムくず⇒360t/月  
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず⇒50t/月  
がれき類⇒50t/月・動植物性残渣⇒10t/月・燃え殻・ばいじん⇒1t/月

# 事業概要Ⅲ



## ◆施設の種類と処理する廃棄物の種類、処理能力他



### ◇選別施設

廃プラスチック類、木くず、金属くず、がれき類、紙くず、繊維くず、ガラスくず、ゴムくず、コンクリートくず及び陶磁器くず  
・処理能力 15t/日(8h)  
・処理方式 手選別及び機械選別ライン

### ◇破碎施設

廃プラスチック類

- ・処理能力 4.7t/日(8h)
- ・処理方式 破碎機



### ◇圧縮・梱包1施設

廃プラスチック類、金属くず、紙くず、繊維くず  
・処理能力 紙くず 63.4t/日(8h)、繊維くず 44.2t/日(8h)、金属くず 88.5t/日(8h) 廃プラスチック類 41.5t/日(8h)  
・処理方式 圧縮梱包機

### ◇圧縮・梱包2施設

廃プラスチック類、金属くず、紙くず

- ・処理能力 紙くず 2.9t/日(8h)、金属くず 10.8t/日(8h)
- 廃プラスチック類 3.4t/日(8h)
- ・処理方式 圧縮梱包機

### ◇積替保管施設

・保管する産業廃棄物の種類

#### ①石綿含有産業廃棄物

廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

#### ②水銀使用製品産業廃棄物

廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、汚泥

・保管上限と高さ

① 石綿含有産業廃棄物 6.1 m<sup>3</sup>/0.88m

② 水銀使用製品産業廃棄物 0.76 m<sup>3</sup>/0.6m



## 事業概要 IV

### ◆施設等の状況

#### ◇運搬車両の種類と台数

■8tクラム車 1台／大型アームロール車 1台／4tアームロール車 2台

■3tユニック車 1台／4tユニック車 1台／2tアームロール車 1台

■4tパッカー車8台／2tパッカー車 1台／軽トラック 1台

合計 17台

#### 【低排出ガス車の導入状況】

◇平成12年基準適合／排出ガス 25%低減車	1台	5.9%
◇平成12年基準適合／排出ガス 75%低減車	1台	5.9%
◇平成12年基準適合／排出ガス 85%低減車	1台	5.9%
◇平成17年基準適合／排出ガス 10%低減車	3台	17.6%
◇平成21年規制適合車	1台	5.9%
◇平成22年規制適合／排出ガス 10%低減車	6台	35.3%

#### 【低燃費車の導入状況】

◇平成27年度燃費基準達成車	9台	52.9%
----------------	----	-------

### ◆事業の規模

活動規模		単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
売上高		百万円	381	430	466	403	391	430	492
廃棄物 取扱量 (有価物含)	収集運搬	t	13,137	12,748	12,240	12,240	11,549	11,031	12,216
	中間処理	t	7,489	7,635	7,695	7,497	7,429	7,351	8,434
従業員数		人/年	33	35	36	32	30	32	33
敷地面積		m <sup>2</sup>	4,999	4,999	6,342	6,342	6,342	6,342	6,342
車両台数		台	17	17	17	16	16	17	17

※2017年度 既存事業地の拡張

### ◆会計年度及び環境年度

毎年3月1日から翌年2月末日

### ◆情報公開

◇(株)グリーンロジスティクス ホームページ ⇒ [http:// greenlogistics.co.jp/](http://greenlogistics.co.jp/)

◇産廃情報ネット情報開示システム ⇒ <http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/>



# 環境経営マネジメントシステム

## エコアクション 21 組織図



☆環境管理責任者の連絡先 (096)293-0743

	主な役割と権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針の策定とE A21 環境マネジメントシステムの統括。</li> <li>・環境管理責任者の任命。</li> <li>・全体の取組み状況や評価及び見直しの実施・指示。</li> <li>・環境経営レポート発刊の承認。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表取締役より委任を受け環境経営システムの構築・運用・維持に関する責任と権限。</li> <li>・環境経営計画の策定及び進捗管理を代表取締役へ報告。</li> <li>・環境関連法規の取りまとめと、活動の評価及び環境経営レポートの作成と公表。</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者と連携し環境経営システムの構築・運用・維持の補佐。</li> <li>・環境活動における決定事項を社員全員への周知及び環境活動記録の取りまとめと報告。</li> </ul>

# 環境経営目標と実績及び評価

環境目標	単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 目標	2021年度 実績	評価	2022年度 目標	2023年度 目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	767	766	760	880	×	850	840	
購入電力量	kw h	10,676	9,837	10,000	8,901	○	8,900	8,800	
購入動力量		44,083	49,309	49,000	59,364	×	59,000	58,500	
太陽光発電量	kw h	82,193	92,663	83,000	88,169	—	85,000	85,000	
化石燃料	1) 灯油	L	108	108	105	342	×	300	300
	2) ガソリン		2,737	2,113	2,600	2,459	○	2,400	2,300
	3) 軽油 (内災害車両)		102,912	114,050	110,000	150,746	×	150,000	145,000
	4) 液化石油ガス (LPG)	kg	81	66	65	57	○	55	50
水資源使用量	m <sup>3</sup>	1,371	855	840	833	○	820	810	
事業所からの廃棄物排出量	kg/人	9.6	9.0	8.7	9.0	×	9.0	9.0	
リサイクル率の向上	%	72.6	71.8	70.0	75.8	○	76.0	76.0	

○二酸化炭素排出量については、収集運搬車両及び重機の稼働による軽油の割合が高く、業務の量により変動するため、売上百万円当たりの数値で環境目標を設定した。

○購入電力の排出係数（調整後排出係数）については、2021年度実績の新出光（0.523kg-CO<sub>2</sub>/kwh）及び九州電力（0.347kg-CO<sub>2</sub>/kwh）を使用した。

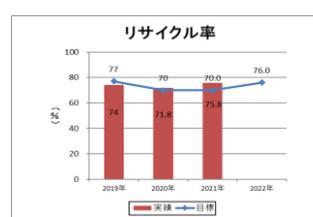
○購入電力については、破碎機等の稼働による動力使用量の割合が高くなるため、2019年度実績より電力と動力に分けることにより、比較・目標設定を行い、わかりやすくした。

○購入電力との比較ができるよう太陽光発電量を記載した。

○太陽光発電量については、発電シュミレーションにより目標(85,000kwh以上)を設定した。

○当社の業務は、廃棄物の収集運搬及び中間処理業なので、中間処理業で取扱う廃棄物に係るリサイクル率(76%以上)で環境目標を設定した。

○過去との比較から、収集運搬量及び中間処理量(特に廃プラスチック類)は、今後も増加する見込であること、また、大型車による最終処分場への自社運搬を行うことで、燃料使用量の増加(約1,400ℓ/月)も想定できることから、現行の取組みを継続しつつ2021年度の実績を基に目標設定の見直しを行う。



## 環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容I

○二酸化炭素排出量の削減		
取組み項目	取組み内容	評価
電気・電力 使用量の削減	<b>【事務所】</b>	
	①未使用部屋の電気・パソコン等のこまめな電源の入切の徹底する。	○
	②7月に、事務所業務用エアコンを省電力用エアコンに取り換えたことで、更なる電気使用量の削減が見込める。	○
	③エアコンの温度設定を、夏季は一定にし、冬季はヒーターの使用を徹底し電気使用量の削減に努める。	○
	④冬季のヒーター使用を徹底し電気使用量の削減に努める。	○
	<b>【圧縮・破碎・選別施設】</b>	
	①廃プラスチック類の破碎の取扱量が増加したことにより、破碎機・圧縮機等の効率的な使用及び定期的なメンテナンスを行い負荷の少ない稼働に努める。	×
②昨年クランプリフト・コンボの入替えに続き、8月に低騒音・低燃費の環境基準適合のフォークリフトを購入しさらなる作業効率の向上及び省電力、燃料使用量削減に努める。	×	
<b>【評価と次年度の取組み/事務所】</b>		
7月に、事務所業務用エアコンを省電力の業務用エアコンに取り換えたことと冬季のヒーター使用の徹底により電気使用量が前年比較で916kwh（約10%）削減できた。次年度もメンテナンスをしっかりと行い継続し取組む。		
<b>【評価と次年度の取組み/圧縮・破碎・選別施設】</b>		
電力使用量は太陽光発電量で補えているが、目標達成できなかった。 廃棄物中間処理量が前年より約801t増加していること、特に廃プラスチック類の破碎が前年より約438t増加していることにより破碎機・圧縮機の稼働に伴う電力使用量が増加した。 次年度以降も取扱量は増加する見込みであることから動力使用量の増加も見込まれるので、現行の取組みを継続し、次年度で破碎機の刃の入替えも行い、負荷の少ない効率的な稼働に努める。		
<b>【電力使用量と太陽光発電量の比較及び取組み】</b>		
今年度電力使用量 68,335kwhに対して、太陽光発電量 88,169kwh。 メーカーで発電シュミレーションをしたところ、月平均の発電量が88,300kwhであることから、次年度以降の目標設定を変更した。今後、発電量が月平均85,000kwhを下回った場合にパネルの洗浄等のメンテナンスを検討していく。		
灯油・ガス 使用量の削減	①給湯室のガスコンロは、最小限度の使用に努める。	○
	②ヒーターのフィルター清掃（冬場は、1回/月）	○
	③休憩室でのヒーター使用の徹底	○
軽油・ ガソリン 使用量の削減	①エコドライブ講習会の実施	○
	②タイヤ点検講習会の実施とタイヤ空気圧チェックの実施	○
	③重機運転・メンテナンス研修会の実施	○
	④計量器による積載量のチェックを行うことにより、過積載をなくし燃料使用量削減の向上に努める。	○
	⑤処理委託先及び有価物の売却先への輸送を4t車から大型車両に変更することで、燃料使用量を削減する。	○
	⑥車両ごとに月の燃費を算出し、運転者に対する講習会の企画や車両のメンテナンスや買換えの目安にする。	×
	<b>【評価と次年度の取組み】</b>	
収集運搬量の増加（一般廃棄物・有価物・産業廃棄物合わせて約1,185t増加）に伴い、燃料使用量も増加したため目標を達成できなかった。 次年度以降も、取扱量の増加に伴う燃料使用量の増加が見込まれることや、処理委託先及び有価物の売却先への輸送を4t車から大型車両に変更し、月平均9回ほど運搬することで、売上・作業効率は良くなる半面、燃料使用量は増加することも踏まえ、現行の取組みを継続しつつ、目標設定の見直しを行う。		

\*評価『○』の項目に関しては、次年度も引き続き取組みを継続する。



## 環境経営計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容Ⅱ

○水使用量の削減		
取組み項目	取組み内容	評価
節水努力	①洗車時は高圧洗浄機を使用する。	○
	②冬場の水道管凍結による破裂を防止する為、毛布を巻くなどの対応をする。 極寒時には、水道を少量流すなどの漏水防止に努める。	○
	③漏水の早期発見の為、夏場は2週間に1回、冬場は1週間に1回の漏水点検を実施する。	○
	④水の出っぱなしをしない。	○
	⑤蛇口・ストッパーなど設備不良のチェックや取替を適時行う。	○
○事業所からの廃棄物排出量の削減		
取組み項目	取組み内容	評価
3Rの推進	①可燃・不燃・ビンカン・ベットの分別の徹底	○
	②プラスチック類の分別	○
	③紙類の分別（上質紙・雑紙・新聞・シュレッダー）	○
	④社内コピーは裏紙を活用し、社内文書はできるだけ電子メールや社内SNSツールを利用する。	○
	⑤ファクシミリ受信時、パソコン画面で確認し必要なものだけ印刷する。	○
	⑥新人研修時に、マイバッグ・マイ箸・水筒持参などの推奨、外からゴミを持ち込まない等、3Rの徹底をする。	○
○資源の有効活用		
取組み項目	取組み内容	評価
資源の有効的な活用	①お客様より買い取りをした段ボール圧縮ブロックを有価物置き場の仕切りとして活用する。	○
	②お客様より買い取りをした鉄製コンテナを保管BOXとして活用する。	○
○リサイクル率の向上		
取組み項目	取組み内容	評価
効果的な再資源化	①大型の破砕機および圧縮機の効率的な稼働に努める。	○
	②低騒音・低燃費の環境基準適合の重機への入替により、作業効率の向上及び省電力・燃料使用量削減に努める。	○
	③破砕機・圧縮機等メンテナンスの徹底 破砕機への1回の廃棄物投入量や連続稼働時間なども考慮し、負荷の少ないより効率的な稼働を心掛け、リサイクル率の向上に努める。	○
	【継続する取組み・新たな取り組み】	
	④圧縮・破砕・選別の中間処理において、付加価値を高めた再資源化に努める。	○
	⑤排出事業者に対し、再資源化に必要な廃棄物の保管方法等の提案を行う。	○
	⑥社内において廃棄物の分別及びリサイクル研修を計画的に実施する。	○
	⑦排出事業所に対して、行政からの資料等を配布し分別の徹底をお願いする事により、単純焼却の量を減らし、再資源化の量を増やすよう努める。	

\* 評価『○』の項目に関しては、次年度も引き続き取り組みを継続する。

# 教育・研修実施計画及び実績記録

分類	講習会・研修会・勉強会	対象グループ	具体的内容	予定	実施日
1 環境教育関係	車両運行前点検等研修会	一般廃棄物収集運搬グループ 産業廃棄物収集運搬グループ	1.点検の重要ポイント 2.故障時の対処方法	随時	随時
	エコドライブ研修会		リモートによる勉強会	1月	3月10日
	タイヤ点検講習会		リモートによる安全且つ、環境に配慮したタイヤ選び、タイヤ点検法を学ぶ	6月	9/3・4
	重機運転・メンテナンス研修会		リモートによる環境及び安全運転上の注意事項と安全衛生法について学ぶ	6月・10月	6月22日
	安全運転講習会		動画視聴により勉強会招いての危険運転防止について学ぶ	7月	3月10日
	リスクアセスメント会議		あらゆるリスクを想定し、意見交換をする	3ヶ月毎	3月・6月・9月・12月
2 環境上の緊急事態の訓練等関係	消防訓練	全グループ	緊急事態を想定し、実際に沿った訓練を行う	3月・1月	2月5日
	廃油・排水・汚水流出を想定した訓練	全グループ		2月	1月15日
3 外部からの苦情等関係	社内勉強会	全グループ	苦情等が発生した場合、随時 各グループにてその原因と是正を話し合う	随時	随時
	グループ長会議	各グループ長	各グループからの吸い上げを基に、協議・報告	随時	随時
4 環境関連法規関係	廃棄物適正処理講習会	全グループ	1.リモートによる収集運搬業務フローと安全衛生の取り組み 2.リモートによる中間処理業務フローと安全衛生の取り組み 3.リモートによる安全・健康で働くために	4月・6月・1月	6月5日
	産業廃棄物の収集運搬 (知らなければならぬ基礎知識)	一廃・産廃収集運搬グループ	リモートによる産業廃棄物収集運搬についての基礎講座		7/20・21・26・27・30
	SDGs	全員	1.リモートによる企業にとつSDGsとは 2.リモートによるSDGsとは。あらゆる企業が取り組むべき理由 3.リモートによる企業がSDGsをビジネスに取り入れて加速させる方法 4.リモートによる当社が継続して取り組む項目		6月5日
5 問題の是正処置及び予防 処置関係	社内勉強会	全グループ	問題が発生した場合、随時 各グループにてその原因と是正を話し合う 定期的なミーティングにより、気づきを挙げ、解決していく 事故等発生後ミーティング含む	随時	随時
	安全衛生 新型コロナ対策	一般廃棄物収集運搬グループ 産業廃棄物収集運搬グループ 中間処理グループ	リモートによる産業廃棄物収集運搬及び作業時における留意点		6月5日
	覚えておきたい熱中症の 応急処置	一般廃棄物収集運搬グループ 産業廃棄物収集運搬グループ 中間処理グループ	リモートによる作業中熱中症になった場合の適切な処置について	8月	8/16・17
	グループ長会議	各グループ長	各グループからの吸い上げを基に、協議・審議・報告を行う	随時	随時

コロナ禍において講習会等の実施が困難な状況の中、昨年に続き、密を避け各々動画視聴によるリモート研修を多く行った。

次年度も、都度、状況を見極め計画的に実施していく。

# 地域環境コミュニケーション I



◆2021.4.20 コロナ禍で多忙な医療従事者の方々へ 感謝の気持ちと一緒に寄贈させていただきました。



コロナ禍の中、医療施設では医療用グローブが不足していました。そこで、弊社取引の再生プラスチックの販売メーカーの協力を得て医療用グローブを20,000セット確保し、地元ロータリークラブとの共催で、地域の医療施設に感謝の気持ちと一緒に寄贈させていただきました。

◆2021.5 安全誘導を再開しました。

地域のスクールゾーン3か所で、登校時の交通安全誘導を再開しました。



◆2021.7.27 シンママ熊本応援団さん(写真左)、就労移行支援事業リタシードさん(写真右)に寄付金を寄贈させていただきました。

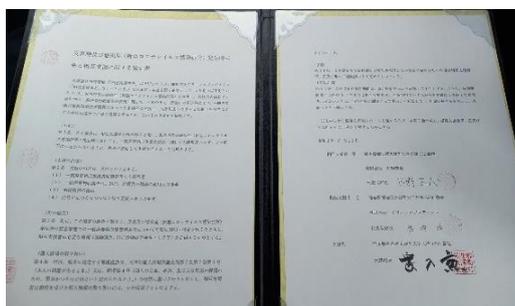
排出事業者さまよりお預かりしていますマニフェスト伝票発行代金の一部を、弊社が施設外就労で業務委託をしている施設、及びシンママ熊本応援団に、お役立ち出来るようにとの排出事業者の皆様の気持ちと共に届けてまいりました。





◆2021.7 大津町と有限会社日野環境さんとの相互支援協定を締結しました。

大津町内の一般廃棄物収集業務委託に関して、災害時及び感染症(新型コロナウイルス感染症等)発生時に、人員や機材の不足等により収集業務委託が困難になった場合、相互に支援し大津町民へのサービス低下を未然に防ぐため円滑な支援をするを目的に協定を締結しました。



◆2021.10.23 阿蘇黒川にて不法投棄撤去作業に参加しました。

2回目となる今年も、10月23日に熊本県産業資源循環協会城北支部で、阿蘇市黒川地区に30年以上放置されていた廃タイヤの撤去を行いました。



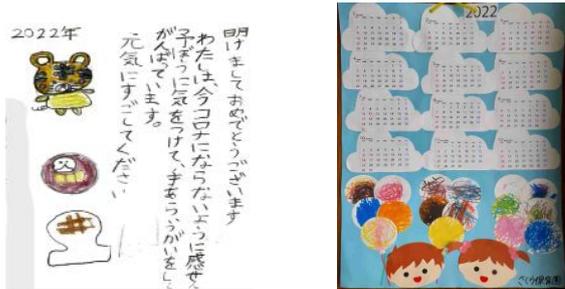
◆2021.11 もりかわコミュニティスクール事務局発行の広報誌「護川の風」で、弊社の取り組みをご紹介いただきました。

朝の子ども達の登校時安全見守りに加え登下校路の草刈り等、企業・地域・行政を巻き込んで、地域に対して「役立ちたい」という価値観を共有し「私達らしく」活動しています。





◆護川小学校生徒さんより心温まる年賀状や、収集先のさくら保育園みなさんから手作りのカレンダーをいただきました。



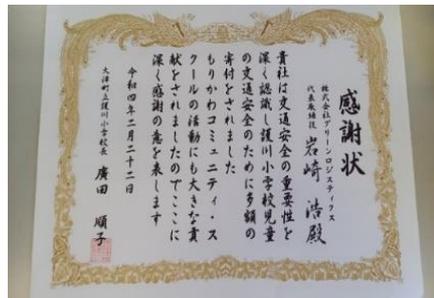
◆2022.1.9 弊社周辺地域の杉上区へ寄付金の寄贈をさせていただきました。

地元周辺地域の皆様に、日頃より施設からの騒音や振動、また車両や重機の騒音等で負担をおかけしているため、地域に役立てていただこうと、感謝の気持ちを伝えさせていただきました。



◆2022.2.22 護川小学校さんへ地域みまもりジャンパーの寄贈をしました。

その際、護川小学校さんより朝の交通誘導の取組みに対し、感謝状を頂戴しました。わたしたちの地域融和活動を大津町の地域通貨に換え、大津町立護川小学校に地域みまもりジャンパー50着を寄贈しました。





◆2022.2.1 大津町立護川小学校にて、熊本県産業資源循環協会青年部によるリモート環境出前講座を開催しました。

以前より護川小学校児童4年生を対象に、環境について学ぶ一環として始めた環境学習。2年ぶりに行うことができました。

今回は、まん延防止等重点措置期間ということもあり、別室からのリモート形式での授業を実施しました。

1時限目は、不法投棄の現状を紹介、県内や大津町から排出されるごみの量、ゴミを減らすために最も大切な分別について学んでもらいました。

2時限目は、屋外に塵芥車を用意し、実際にゴミの投入体験を行いました。

また、「約束の木」の発表では、児童たちから「ボランティア活動をしたい」

「町内をきれいにしたい」など、しっかりとした目標を書いてもらいました。



# 環境関連法規等の遵守状況 I

## ◆環境関連法規

該当する廃掃法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、土壤汚染対策法、消防法、フロン排出抑制法、水銀汚染防止法に違反及び訴訟はなかった。

## ◆条 例・要綱

重大なクレーム等はなかった。

## ◆要求事項(クレーム)

違反及び訴訟はなかった。

## ◆主な改正のポイント

法令名	施行日	改訂・改正等	ポイント	当社での取組
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2021.4.14	「行政処分の指針について」の一部改正	廃棄物の処理及び清掃に関する法（昭和45年法律第137号。）については、累次の改正により、廃棄物処理業及び処理施設の許可の取消し等の要件が強化されるとともに、措置命令の対象が拡大するなど、大幅な規制強化の措置が講じられ、廃棄物の不適正処理を防止するため、迅速かつ的確な行政処分をすることが可能となっている。	廃掃法は基より関係法令の遵守に努めると共に、適正な収集運搬及び処理に努めています。
	2021.7.6	「廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の一部改訂について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変異株、ワクチンに関する記載を追記。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に関する経緯や対応方針を時点修正。</li> <li>・消毒液の記載や種類を追記。</li> </ul>	手袋・マスク等の防護具の使用。 運搬車両、施設等の定期的な清掃及び消毒の実施。
	2021.9.30	騒音規制法第十六条第一項の規定に基づき、自動車騒音の大きさの許容限度の一部を改正する。	工場騒音および建設作業騒音を規制する地域として都道府県知事が指定すべき地域の範囲を拡大したこと。自動車騒音についても許容限度を定めること。	大津町の基準は、熊本県の規制法に準ずる。弊社基準は、敷地内及び住宅周辺は、20K以下での走行を徹底している。
	2022.1.5	「事業場における労働者の健康保持のための指針の一部を改正する件」について	指針の策定から30年以上が経過し、産業構造の変化や高齢化の一層の進展、働き方の変化等、日本の社会経済情勢が大きく変化していることを踏まえ、事業場における健康保持増進対策がより推進されるよう見直しを行った。	年に1回の健康診断の実施。社内には、勤務中のこまめな休憩をとるようにしています。
その他通知等	2021.4.5	廃棄物処理施設等の更新及び交換に係る手続きについて（通知）	当該設置許可等に基づき設置した廃棄物処理施設を撤去し、新たに廃棄物処理施設を設置する際、「施設を更新する際の許可の申請に係る事務処理について、更新手続きが円滑な事業の促進を阻害することの無いように必要措置を検討していくべき」	
	2022.1.18	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う産業廃棄物処理従事者への対応	オミクロン株患者の濃厚接触者の待期間を10日間とする事。 濃厚接触者のうち、社会機能の維持のために必要な事業に従事するものについて、各自治体の判断により、待期間の10日を待たずに検査が陰性であった場合でも待機を解除する取扱いを実施できる旨。	出勤時の検温の実施 家庭において、異常があった場合の連絡の徹底をしています。



◆2022.4月から中小企業でも義務化される「パワハラ防止法」の施行に伴い、弊社でも組織編成への組み込みを行い、SDGsの取組みに併わせ、パワハラ防止にも取り組んでいきます。

**ハラスメント対策のご案内**

ハラスメント教育、相談窓口の設置は経営トップの**急務**です。

**【パワハラ防止法】** 2022年4月から中小企業でも義務化  
「ハラスメント教育」「相談窓口の設置」「担当者の専任と教育」ができないと、行政指導、監督、社名公表で信用失墜、評判ガタ落ち、場合によっては、従業員に訴えられ高額賠償金支払い命令…

**お任せください!**

**社外相談窓口のご案内**

窓口業務対応範囲

はたらくキモチ 相談窓口

相談者 → 入力 → 相談窓口 → ご連絡 → カウンセラー

人事相談実績 1万人以上! 24時間受付!

防止法の措置義務に対応!

報告書 → 貴社担当者

**3つの特徴**

- 事務所向けハラスメント教育の実施
- キャリアコンサルタント・産業カウンセラー・心療カウンセラーなどの専門家に対応
- 会員事業所に役立つ人事コンテンツ配信

さらに詳しい情報はこちらのQRコードからアクセスしてください。

**LINEアカウント**  
LINE公式アカウントで役立つ情報を随時更新中。お友達登録はこちらから

すべての人に はたらく喜びを  
**はたらくキモチ** 株式会社正文堂 〒860-0863 熊本県中央区坪井4丁目1-35  
☎096-343-5770 <https://hatakimo.com>

現在社内では、相談窓口の設置はしていますが、「パワハラ防止法」の施行に伴い、新たに外部相談窓口を設置することにより、社内・外とで連携して社員のフォローができる体制を整備することといたしました。

- ・役職者に対しては、管理者研修を行い、認識の統一と知識の共有を図っていきます。
- ・上司に対し「相談しづらい」「うまく伝えることができない」「相談しても対応してもらえないのではないか」などの不安を解消するため、LINE やオンラインなどのツールを使い、会社を介せず、直接守秘義務のある外部窓口にご相談できる。
- ・社員が安心して働ける職場環境にする。



# 代表者による全体評価と見直し

## ◆環境経営方針

変更ありません。

## ◆環境マネジメントシステム

SDGs を組み込んだ組織編成をおこない、縦横の連携を図るとともに、環境管理責任者を中心として、より主体性をもって取り組んでいきます。

## ◆環境経営目標・環境経営活動計画及び取組結果の実績と評価

環境目標の実績と結果及び環境活動計画は、環境経営活動レポートに記載の通り。

2021 年度は、廃棄物の収集運搬量と中間処理量が増加したため、燃料使用量及び施設の電力使用量が目標を達成できなかった。取扱量については年々増加傾向にあり、今後も増加する見込みであることから、これまでの取組みを継続し、かつ、2021 年の実績を基準として、2022 年以降の目標の見直しを図ります。

## ◆次年度の見直し

1. 次年度は、破碎機のメンテナンス(刃の取り換え)を予定しています。  
これにより、作業効率の向上及び、それに伴う重機類の燃料使用量の削減も見込まれます。全体的な取扱量は増加傾向にあり、中でも廃プラスチック類の取扱量が今後も増える見込みです。  
次年度の活動計画としては、継続して破碎機・圧縮機のメンテナンスの徹底、重機類の省電力及び効率的な運転作業に努めます。
2. 最終処分先までの輸送を 4t 車から自社の大型車両に移行することで、作業効率の向上は見込めますが、燃料使用量は増加が予想できるため、効率的な運搬に努めてまいります。
3. 次年度は老朽化している油圧ショベルの入替を予定しています。これにより、作業効率の向上が見込まれます。

## ◆その他

1. 次年度の教育・研修については、本年度同様にリモート研修を取り入れて、計画的に確実に実施します。
2. 業界内における事故に関しては、常に職責の重要性を認識し、地球環境への配慮を念頭に置きながら、適正処理の徹底・コンプライアンスの確立に向け、社員全員の取組みにより一層努力して参ります。
3. 2021 年 7 月に同業社及び大津町と 3 者による相互支援協定を結びました。  
協力・共存の体制を構築し、地域の非常事態に対しても貢献できるように努めます。
4. 「熊本県 SDGs 登録制度」における第 1 期事業所登録証の交付をいただきました。  
17 の目標のうち 5 つの重点取組み項目を選定し、組織図に落とし込み、持続可能な環境経営活動に積極的に取り組んで参ります。

2022 年 7 月 1 日

株式会社グリーンロジスティクス

代表取締役 岩崎 浩



## これまでの取組 I

### ◆事業の履歴

- ・1993年 熊本県・熊本市産業廃棄物収集運搬業の許可を取得
- ・2001年 新社屋及び選別・保管施設を建設
- ・2004年 熊本県産業廃棄物処分業許可(選別)を取得  
産業廃棄物の選別施設建設開設・稼働
- ・2006年 エコアクション 21 認証を取得
- ・2008年～2017年 関連会社(有)百式にてバイオディーゼル燃料の精製事業を行う



- ・2010年 産業廃棄物の破碎及び圧縮・梱包施設を増設  
混合廃棄物の選別ライン新設
- ・2013年 熊本県より優良産廃業者の認定を受ける
- ・2014年 太陽光発電システム(84kw)を設置し、発電事業開始
- ・2015年 発泡スチロール減容機を増設
- ・2017年 産業廃棄物の選別施設を移設拡張及び破碎施設の増設



- ・2018年 大津町の一般廃棄物処分業を取得
- ・2019年 水銀使用製品産業廃棄物及び石綿含有産業廃棄物の積替え保管施設の許可を取得  
スーパーの導入
- ・2020年 最終処分先までの輸送のため大型車両を購入
- ・2020年 低燃費・低騒音の環境基準適合のクランプリフト、ユンボを購入。





## これまでの取組Ⅱ

### ◆行政及び環境団体との連携

- ①環境ボランティアグループ 4R 白川が行っている、小学校を回収場所とした集団回収と子ども達への環境教育への参加
- ②大津町の団地内指定場所に廃油回収 BOX を設置し、月 1 回の回収を行った
- ③大津町女性の会「菜の花コンサート」への参加
- ④「からいもフェスタ」に参加
- ⑤「菜の花パトロール」などのボランティア活動で得た地域通貨「水水」を町指定のごみ袋に替えて、小学校や地元杉上区へ寄贈



### ◆地域環境コミュニケーション

#### ①2008 年度より

- ・地域のスクールゾーンで登校時の交通安全誘導とバイオディーゼル燃料を活用した菜の花パトロール
- ・地域家庭の不燃物等をボランティアで引き取り



#### ②2009 年度より

- ・近隣小学校との環境学習会





## これまでの取組Ⅲ

・2016 近隣小学校と地域に地域通過の寄贈



・2019.7.19 大津町の障がい者就労支援施設より会社見学に来られました。



・2020 もりかわコミュニティスクールへ参加しました。



・2020.10.31 人吉豪雨災害のボランティアに参加しました。

